

## コンピュータ技術 ハボロネ 24年度3次隊

私は、2013年1月からボツワナの首都ハボロネにあるハボロネ技術短期大学でITシステムの改善と管理の指導をしています。配属先のカレッジは、国内に8校ある公立の技術短期大学の1つです。ボツワナで唯一、知的障害者の社会復帰コースを持っているなど国内では、先進的と評価されている学校です。尚、公立校は、学費・寮費・食費が無料です。

私の要請は、元々講師の依頼ではありませんでしたが、2013年の3学期(9月始まり)から、講師として、授業をしているので、本稿では、ボツワナのカレッジライフを紹介します。ちなみに、ボツワナの学期は、1学期が、1月第2週の火曜からイースターまで、2学期が、イースターの3週間後の火曜から7月末まで、3学期が、9月第1週の火曜から11月末までになります。ボツワナらしいのは、始まりが火曜ということで、職員(特に講師)学期休みは、完全に遊びモードで、全く仕事をしません。なので、月曜に明日から学校が始まると気付いて慌てて準備を始めます。(夏休みの宿題を溜め込んだ小学生のようです)



ボツワナの学校は、朝7時半から始まります。ボツワナ人は、のんびりしていて時間を守りませんが、それは生徒も同様です。たいていは8時位に全員揃います。それでも、2限目や3限目に比べて、1限目は、出席率が高く、生徒の集中力もあります。(ボツワナ人は、朝に強いです。)授業は、1限2時間と日本に比べてとても長いです。クラスは、男2・女4の計6名と少ないですが、元々は、16名(ICT部門での1クラスあたりの最大数)のクラスです。私が授業を持つ前の1年間で10名がドロップアウトをして、6名しか残っていない状態です。これは、特に珍しいことではなく、50%から70%位は、ドロップアウトをするのが普通になっています。

9時半に授業が終わると11時まで、ティータイムと呼ばれる時間が始まります。生徒も職員もみんなルイボス茶やコーヒーに、マゲーニャという伝統的な軽食を食べます。ほとんどの人は、これを朝食代わりにしています。寮生ではない通いの生徒も、勿論、このティータイムとランチは、無料です。私が、赴任したときは、特に生徒か確認も無く誰にでも、無料で、配っていましたが、去年(2013年)、生徒では無い人たちがランチを食べているというのが問題になり、今は、学校が支給する食券がないと貰えません。職員は、学校近くの露天や後述する食堂に買いに行きます。私も一度だけ参加しましたが、ファットケーキという危険な別名を持つマゲーニャは、超高カロリーで、ボリュームがあり、ティータイムに食べると、ランチタイムには、まだ残っていて、午後の変な時

間にお腹が空くという辛いことになったため、以後、ティータイムは無視して仕事をしています。ちなみに、マグーニャは1つ2プラ（約24円）と安いので、お金がない人は、ティータイムに3つや4つ買って、朝・昼・晩をこれで済ませています。

11時に2限目が始まり、13時に終わると今度は、ランチタイムです。2、3時間前に、とても重たい“軽食”を食べているのに、よく食べれるなあといつも感心と呆れ半々です。職員用のランチは、選択肢が2つあります。1つは、クジという伝統的なボツワナ食の食堂です。持ち帰りが19.5プラ（約234円）で、店内だと1プラ安くなります。木曜日だけ鱈フライ（24プラに値上がりしますが）を選べますが、普段は、ビーフかチキンの二択で、曜日毎にメニューが決まっています。味は、脂っこくて、私は好きではありません。もう1つは、バイチュティ（Baithuti: 現地語「生徒達」）レストランというホスピタリティ部門が実習授業としてやっているレストランです。校長や教頭、部門長などは大抵こちらでお昼を取ります。私も、いつもこちらです。前菜、メイン、デザートとコースで、料理が出てきます。かなりボリュームがありますが、25プラ（約300円）と安いです。こちらメインは、2択で選べますが、伝統的なボツワナ食は、ほとんど出ず、ラムやポーク、魚が選べることも多いです。また、味付けも、ボツワナ食のように濃くないです。残念なことは、金曜と学期休み+前後約1~2週間は、やっていないことです。

14時になると3限目が始まり、16時に終了です。1限目に限らず、2限目でも、3限目でも、時間前に来ることはありません。日本と違い、11時に2限目なら、生徒達は11時になってから、教室に向かい始めます。3限目は、特に出席率が下がります。大抵は、お昼食べて眠くなったから、お昼寝していたや、食後に寮の部屋で運動（性交の意味ですが）していたなど頭痛のしてくる理由です。

放課後になると、生徒は、スポーツをしたり、ポートフォリオと呼ばれる小論文（常にこれを生徒がきちんと提出しないことが問題になっている）を共有PC室やPCラボで書いて過ごします。スポーツは、サッカーと日本では馴染みのないネットボールが人気です。ネットボールは、バスケットに似たスポーツですが、ポジション毎に移動できる範囲が決まっており、チームワークが求められます。同僚は、ほとんどが終業になるとすぐ（正確には、終業前に勝手に）帰りますが、私は、放課後にPCラボを使いたいという生徒の要望で、たいてい18時頃まで仕事をし、ラボの戸締り・消灯をして帰ります。

金曜の夜を除けば、夜の7時頃には、たいてい校内には誰もなくなります。コンビと呼ばれる乗合のミニバスが、それ位の時間で終わるでの接客とアルコールの給仕についての実習授業で、利益を出す必要がないので、ほぼ原価という格安プライスで、ビールやカクテルなど

全国民ゆとり世代のようなのんびりしたボツワナですが、このように日々充実した活動をしています。活動は、ずっと順調に来ている（私生活は、食中毒で入院したり、強盗が銃を持って押し掛けてきたりと色々トラブルがありますが）ので、この先の落とし穴に気を付けて、任期を終えたいです。

